

5. 小売業

売上額の状況

— 業況・売上D Iとも来期プラス台を予測 —

業況D Iは△7.7と前期と比べ7.7ポイント悪化した。これは前期の見通し△5.8と比べ1.9ポイント下回っている。

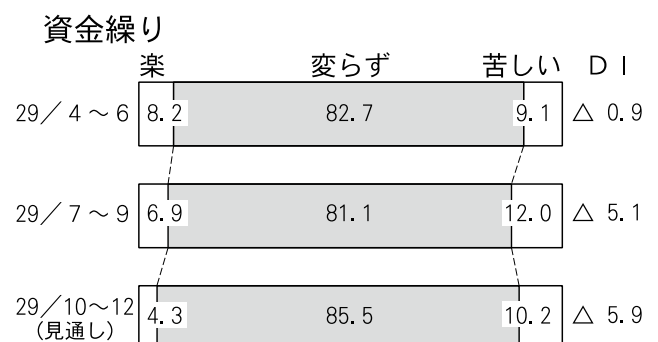
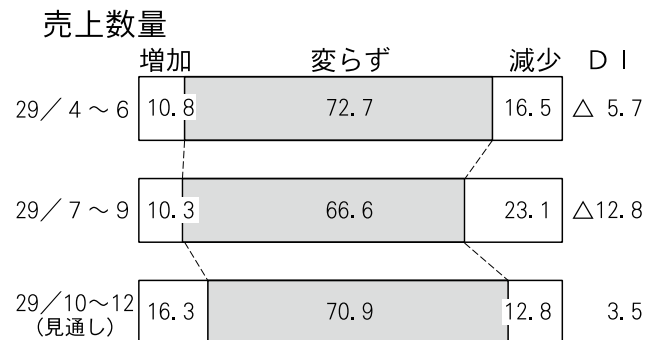
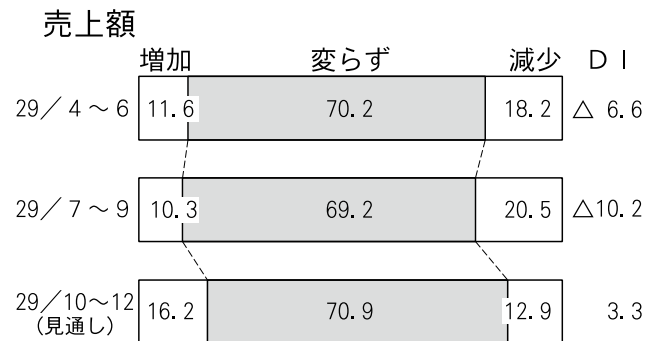
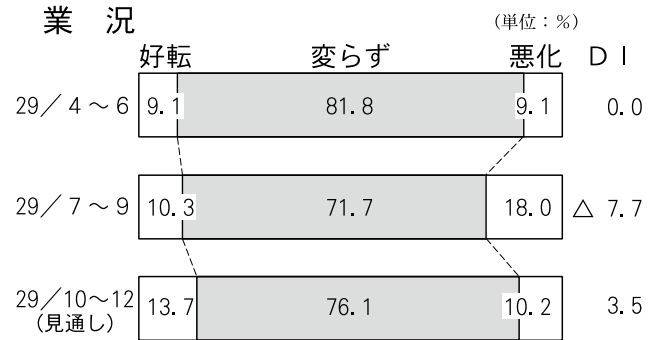
売上額D Iは△10.2と前期と比べ3.6ポイント悪化した。これは前期の見通し△8.3と比べ1.9ポイント下回っている。

売上額D Iを業種別でみると、プラス台は飲食料品小売業の1業種、±0にあるのが飲食店小売業、医薬品・化粧品小売業、書籍・文房具小売業、玩具・娯楽用品・楽器小売業、写真機・時計・眼鏡小売業の5業種、マイナス台は織物・衣類・身の回り品小売業、自動車・自転車小売業、家具・建具・什器小売業、家庭用機械・電気機械器具小売業、燃料小売業の5業種となっている。

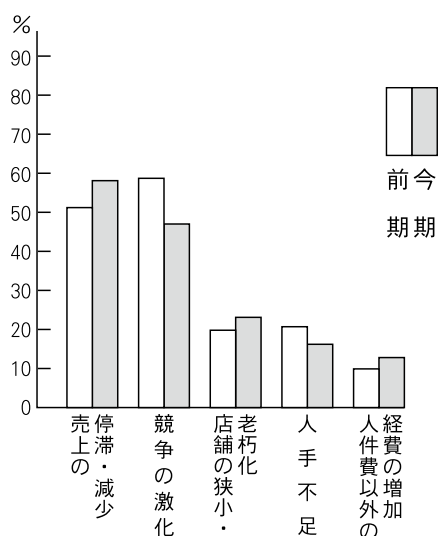
資金繰りD Iは△5.1と前期と比べ4.2ポイント悪化している。

経営上の問題点では「売上の停滞・減少」58.1%、「競争の激化」47.0%、「店舗の狭小・老朽化」23.1%、「人手不足」16.2%、「人件費以外の経費の増加」12.8%の順となっている。

来期の業況D Iは+3.5と今期と比べ11.2ポイント改善、売上額D Iも+3.3と今期と比べ13.5ポイント改善し、共にプラス台になると予測している。



経営上の問題点



収益の状況

— 来期は改善を予測 —

今期の収益D Iは△11.1と前期と比べ7.9ポイント悪化している。これは前期の見通し△8.3と比べ2.8ポイント下回っている。

来期の収益D Iは△1.7と今期と比べ9.4ポイントの改善を予測している。

設備投資の動向

今期の実施率は8.5%と前期の4.1%と比べ4.4ポイント増加した。

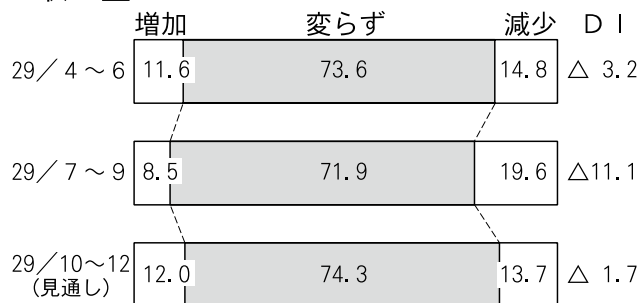
来期の実施予定は6.8%と今期と比べ1.7ポイントの減少を予測している。

業界の新しい動き・課題・見通し等… ご意見

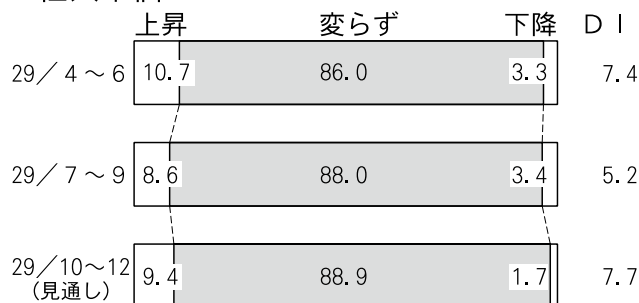
- ・ 新車販売は低調であり、中古車の販売に注力していく。(自動車販売)
- ・ 商品の仕入れ、在庫管理、従業員の高齢化が課題。(食料品販売)
- ・ 薬剤師が不足している。(薬局)

収益

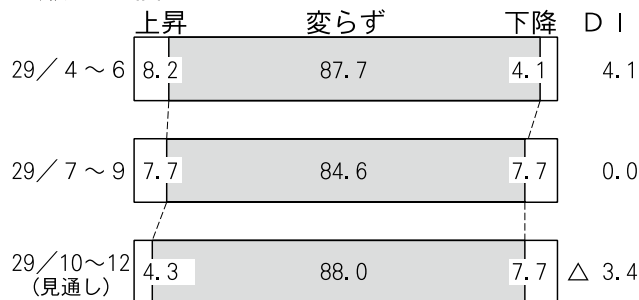
(単位: %)



仕入単価



販売単価



設備投資動向

〔今期の実績〕

29/7~9月実績

実施の有・無	内 訳	比率(%)
○実施した 8.5%	事業用土地	0.0
	店舗・事務所	50.0
	倉庫	0.0
	その他	50.0
○実施しない 91.5%		

(注) 比率は複数回答です。

〔来期の見通し〕

29/10~12月予想

実施の有・無	内 訳	比率(%)
○計画あり 6.8%	事業用土地	0.0
	店舗・事務所	25.0
	倉庫	12.5
	その他	62.5
○計画なし 93.2%		

(注) 比率は複数回答です。